

全国へ発信215

# 幼・保・小・中 一貫教育プロジェクト

## 阿久比町中学生海外家庭生活体験事業

阿久比町では中学生海外家庭生活体験事業として、毎年、中学3年生を海外に派遣しています。第22回目となる今回も、10人の阿久比中学校の生徒が10日間の体験をしてきました。参加した生徒たちは、あらかじめ研修テーマを設定し、現地での結果を踏まえて報告書にまとめています。今回はその報告書を基に、彼らのカナダでの体験をお伝えします。

### 【カナダの自然の豊かさ、生き物の多様さ 近藤晃永】

国土が広く、自然が豊かなバンクーバーにはブラックベアやリス、マーモットなど、日本では見られない多くの野生動物が生息していることが分かりました。大都会であるにもかかわらず、多くの野生動物がいるのは、環境への取り組みが盛んだからだと思いました。実際に現地の学校ではリサイクルに力を入れており、自然を守ろうとする思いを感じました。



### 【海外国風文化に触れて 高本涼平】

僕が今回考えさせられたのは、カナダの特徴である多文化共生社会についてです。さまざまな文化が入り交じると新たな発見や違った興味生まれ、そのことが国際協調につながるのだと思いました。また、カナダの日本食は、自分の知るものと、かけ離れているものがあり、文化は国境を越えると、その地域に合わせて変化していくのだと思いました。

### 【カナダの食生活について 江原歩美】

カナダで食事をしてみると、日本とはさまざまな違いがありました。日本と比べて食事の量が多いことや、野菜を食べる機会が少ないことに驚きました。また、移民が多いせいも、初めて食べるものがたくさんありました。プーティンやナナイモバーなど、カナダでしか口にできないものも食べることができ、良い経験になりました。



### 【学校での生活～驚きが絶えなかった～ 岡本朱里】

カナダの学校では登校後の30分間、体育館で運動をしてから授業を受けます。また、家から持ってきたお菓子などを食べたり、ジュースを飲んだりできる「スナックタイム」が授業と授業の間にあります。お菓子として皮をむいていないリンゴやオレンジを持たされたときは驚きました。カナダでは、フルーツもお菓子の中にも含まれるのかなと思いました。